



自署の名山

長崎森林管理署

厳原森林事務所

首席森林官 松永 雄治

長崎県対馬市の南部に位置する有明山は、対馬の中心地厳原町の西方、有明山（標高五八五㍎）山系の丘陵地帯にあります。有明山を中心に小峰が連なり、山頂を除いて山岳地帯で比較的急峻な地形です。当地は昭和56年にレクリエーションの森「有

万葉集に詠まれた名山 対馬の嶺「有明山」

明山風景林」に指定されています。有明山山頂からのすばらしい眺望、その周辺のカシ、シイを主体とした天然広葉樹林の森林美など、四季折々の移りゆく季節の景観を楽しめます。有明山は、万葉集に「対馬の峰」として詠われた名山で、山頂には草原が広がっており、清水山には、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に築いた清水山城の遺構があり、朝鮮出兵により決定的に悪化した日朝関係改善のため奔走した宗家19代・宗義智（そうよしとし）の菩提寺として建立された万松院（ばんしょういん）など、対馬の歴史にふれることができます。数々の名勝地が残っています。



有明山風景林からの厳原市街地の眺望



有明山山頂から白嶽を望む

対馬空港到着後、厳原行のバスで南へ約20分、厳原町中心部の厳原郵便局前で下車、海路では厳原港到着後、市街地に向けて徒歩約10分で東側から山頂を目指すルート入口へ到着します。本地区は大部分が壹岐対馬国定公園に指定され、有明山山頂から眺望される矢立山（標高六四八㍎）、白岳

アクセスは、



万松院（対馬藩主：宗家の菩提寺）



清水山城跡（豊臣秀吉の朝鮮出兵時建築）

（標高五一五㍎）の連山と併せて、浅芽湾の美しい景色を楽しめます。みなさんも是非一度、対馬を訪れずばらしい自然と歴史にふれてみませんか。

「準フォレスター」の勉強会

【鹿児島森林管理署】県内の民有林と国有林の「準フォレスター」研修受講者で設立した「鹿児島県準フォレスター等活動推進協議会」では、12月6日、県内の林業関係者ら約60人が参加し「準フォレスター研修報告会及び事例報告会」を開き、今年度の活動や研修概要、国有林における取り組みなどの報告があり現状の情報を共有しました。また、1月22日には、霧島市のみそめ館で「日本型フォレスター活動・育成支援事業実施に伴う専門家による指導研修」を開き、現場で活動を行うために必要な基本的考え方や合意形成などの手法を勉強しました。今後も更に勉強会などの取り組みを進めて行くこととしています。



熱心に聞く参加者＝鹿児島

西表島の自然後世に 森林の保護・保全を審議

2月12日に沖縄県石垣市において、第2回西表島森林生態系保護地域保全管理委員会を開きました。

沖縄県竹富町にある西表島は、島の約9割が国有林で、日本最大規模のマングロープ林や原生的な天然林が分布しており、カヌムリワシやイリオモテヤマネコなど数多くの固有種や希少種が生育・生息しています。このすばらしい自然環境を保護し後



審議を行う委員の皆さん

世に遺していくため、平成3年に「西表島森林生態系保護地域」を設定し、平成24年に区域を拡大しました。

今回開いた保全管理委員会では、西表島森林生態系保護地域の具体的な管理方法について審議しました。西表島を含む「奄美・琉球」は世界自然遺産の暫

定リストにも掲載され、今後ますます適切な管理が必要となります。原生的な自然環境を保護・保全していくため、今後も審議を重ねて、保全管理のための計画を策定していくこととしています。

(担当：指導普及課)

緊急安全ミーティングを開催

【鹿児島森林管理署】1月期に2件連続して請負事業体など

による重大災害が発生したことを受け、全事業の請負事業体などを対象に「緊急安全ミーティング」を当署で行いました。今年度は、請負事業体などの労働災害が多発しており、2件の重大災害は、森林整備事業（活用型）の伐倒に起因する類似災害で、林業事業の安全作業における基本的事項の遵守の徹底が重要であることなどを説明しました。その後、「伐倒の安全作業」のDVDを視聴し、安全意識を高めました。



熱心に説明を聞く参加者＝鹿児島



阿南 麻衣さん



我が家は築130年の古家です。縁あって、10年ほど前に引越してきました。家全体がかたむいているので、建具は閉まらないからすきま風は入るし、雨もりはするし、縁側で氷はできないしと、こまったことばかりです。でも古い農家だったので、

木の家のいいところ！

間取りも広く、夏でもクーラーなしでも平気です。真冬でも軒の具合で、部屋の中まで陽射しが入ってきます。太い鴨居や柱にかこまれているとほっとします。こんなにポロポロなのに、本当に不思議です。しかしこのままではあまり不便なので、ちょっとずつ手を入れ

うやうや山から切り出したんだらうか？何人ぐらいたの人がかかわったんだらうか？想像をめぐらせるだけで楽しくなります。

我が家のまわりにも古い家は何件もありますが、わたしたちが越してきたからの10年の間だけでも、どんどん姿を消してい

きました。重機で壊して、古い部材も瓦もタンブでまとめて運びだし、更地にはあったという間に現代風の家が建っていきました。長い年月をかけて育った樹や、職人の技術や知恵が詰まった家が簡単に壊され、外材や輸入合板でできた職人要らずの家

もったいないという気持ちになります。最近では木造の建物のおさが見直されているときもあります。日本の樹のよさが、これからは注目されるいいなと思えます。

(熊本県菊陽町在住)

親子で楽しく作業 照葉樹林復元ボランティア

2月16日に宮崎県綾町中尾園有林内において、平成24年度第2回照葉樹林復元ボランティア間伐および「もっくん」製作などが、綾の照葉樹林プロジェクト連携会議主催で開かれ、宮崎市内の小学校低学年の親子11組26人および木育サポーターなど6人が参加しました。

朝から快晴となった綾町・川中キャンプ場において、開会式が行われ主催者を代表して津々見正樹宮崎森林管理局署長、濱田秀一郎九州森林管理局指導普及



間伐作業を行う児童

課長が挨拶、松永善人九州森林管理局森林施業調整官が照葉樹林、綾のプロジェクトの事業内容、復元のための間伐作業などについて説明を行った後、安全指導、準備体操、班編成を行い作業地に移動し、地元森林官による間伐の実技を受け、班毎に

間伐、もっくん製作に分かれ50分交代で、親子で楽しく作業を行いました。

参加した小学生や保護者からは、「間伐を行った後に、どのような植物が発生するのですか」



ここ天領日田のおひな様まつりも始まり漸く春めいてきました。昨年の思い出は、何と言っても48年振りの庁舎新築です。

やっぴい...でました

地域の風情にあわせた町屋風の落ちついた外観で、腰板と白い壁がマッチングした明るく木のぬくもりを感じさせる落ちついた庁舎が完成し、来客者からも

「森林での作業の大変さが実感できた。それでも貴重な体験が出来て良かった」などの声が聴かれました。
(担当II計画課)

伝統の愛林駅伝で力走

【熊本森林管理署】2月18日、熊本県山都町で当署と山都町の主催による「第五八回愛林駅伝」が開かれました。開会式では大会顧問である工藤篤篤署長が「この愛林駅伝は昭和31年に第1回が開かれ、今年で58回を迎えました。この愛林と名のつく駅伝は全国にただ一つと聞いています。皆さんも愛林思想を引き継



一斉にスタートする参加チーム＝熊本

「玄関に入ると木の臭いがするいい庁舎ですね」と好評です。もう一つは、やっぴいを切ったことです。クラブを綺麗に磨き上げて仕舞ったまま全く練習せず、2カ月に一度のコンペか

はたまた単なる年のせい、スコアが安定し遂に百の壁を突き破りました。これからどこまで上手くなるのやら、もしかして近いうちに90の壁も...

りますが、仕事、趣味も含めて何を残すことができるのか、「今年もよかった」と言えるような一年になるようこれから知恵を絞り出してみよう。

(大分西部森林管理署長 森 勇二)

ドヒートが繰り広げられました。結果は甲佐中が4連覇を成し遂げ、大いに盛り上がった大会となりました。

クリーン活動でゴミ最

【北薩森林管理署】2月19日

当署前山国有林内で熊本林業土木協会鹿児島支部による国有林クリーン活動が行われ支部会員・当署職員約50人が参加しました。当日はあいにくの天気の中、県道脇の国有林に散乱していた大型家電、古タイヤ、家庭ゴミなど4トントラック3台分のゴミを悪臭漂う中で泥まみれになり回収しました。心ない人たちが後を絶たないことは残念ですが不法投棄防止への意識が高まることを望みます。



不法投棄のゴミを回収する参加者＝北薩

シカ被害対策の取組を発表 捕獲技術・効率の向上を目指して

2月7・8日の両日、九州森林管理局大会議室において、林野庁、北海道・関東・近畿中国各局および当局・署の職員など延べ230人が参加し「平成24年度シカ捕獲業務検討会」を開きました。この検討会はシカ被害対策として捕獲技術・捕獲効率の向上を目的に、捕獲業務に

取り組んでいる団体の講演や局・署における取組を発表し、意見交換を行いました。

はじめに平之山俊作九州森林管理局長より「九州森林管理局



シカ捕獲取組みの講演をする森林組合の皆さん

での被害対策については、①相手(シカ)をよく知る②捕獲技術の向上③職員による捕獲業務④民有林との連携による対応、この四つの柱を職員各自が強く認識して挑もう」とあいさつ、高野憲一林野庁経営企画課企画官からのあいさつの後、黒崎敏



暖帯の山地の谷間に生える緑高木で幹は直立します。材質に特に優れた工芸的価値もなく、高価でないことからあまり知られていませんが、里山にあることから、柄木、薪、炭の原木として、時には椎茸の原木としても利用され、燃料革命前は身近な樹木として、日常生活にたくさん使用されました。

垣根に植えると隣にお金を貸す(カシ)ことができるほどお金持ちになると言い伝えがあり、幹がまっすぐに伸びることから、現在でも垣根に好んで植えられています。

文(財)自然環境研究センター部長から「赤城山におけるシカ捕獲について」と都城森林組合から「都城森林組合におけるシカ捕獲の取組」の講演。当局指導普及課、森林技術センターと北海道局での取組について発表があり1日目を終了。

2日目は、屋久島署、大分西部署、熊本南部署、鹿児島署か

65 ウラジロガシ(ブナ科)

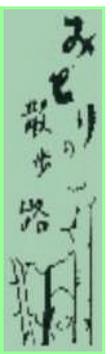
葉を乾かしてお茶にして飲むと胆石や腎臓結石を溶かすという説がありますが真偽のほどは分かりません。民間薬として製品化され、販売されているのは確かです。

名前は葉の裏が粉白色なので「ウラジロ」ガシとなっていますが、図鑑では葉裏の白さについて粉白色、淡緑色、灰白色などの表現を使っています。これは葉裏を観察して自分で覚えることが必要で、文字だけで解釈するには豊富な経験が必要かと思えます。

ウラジロガシの判定は、必ずと言っていいほど根元からぼつ



らそれぞれの取組について発表があり、八代田千鶴(独)森林総合研究所九州支所主任研究員から「食べて森を守る(ニホンツカは森のめぐみ)」と題して講演をいただきました。最後に、矢野彰宏計画部長より全体をおした講評をいただき、2日間にわたる検討会を終了しました。参加者からは今後の取組に反映していきたいとの意見も多くありました。(担当 指導普及課)



あるテレビ番組に出演している人気弁護士に「最近気になるワードは？」とキャスターが質問しているシーンを目にした。司法試験の難関を突破しただけにその回答は、アカデミックな言葉を選びつつも、そこは人気商売。視聴者の普段の生活に溶け込んでいくワードの中でも、注目度の高い言葉を厳選して誇張しげに解説していた。流石の先生も視聴者の心をしっかりと掴むためにかなりの努力をしているのでは……。やはり人気商売も楽ではなさそうである▼陽向で本を読んでいるとついウトウトしてしまう季節「春」は、「別れ」と「出会い」の季節でもあります▼今年の春、我々九州森林管理局は、これまでの着慣れた服に「別れ」を告げて、真新しい服を身にまとい、国民の皆様との新しい「出会い」を求めることにしています▼国民の皆様への生の声をお聞きして、しっかりと心をお預けして頂くために総力戦で挑んで参ります▼なにやら、人気弁護士の先生から「森林」というワードを選んでいただくと日がもうそこまで来ている気がしてきました(た)